

# お知らせ

## ◆遠藤周作生誕90年のお知らせ

〈聖イグナチオ協会〉

記念ミサと講演&音楽

巻頭のページにあります通り、今年  
は遠藤周作生誕90年記念の年です。周  
作クラブと長崎市遠藤周作文学館の共  
催で、左記の一大イベントを催します。  
一般の人も入場可（無料）ですので、  
当日参加するだけでなく、ぜひ多くの  
人に声を掛けてください。

日 時 3月23日（土） 13時受付

記念ミサ 13時30分～14時30分

記念講演 講師・黒井千次 15時

演 奏 ヴァイオリン・佐藤陽子

合 唱 宮野麻紀と長崎「無鹿」

懇親会 教会内ヨセフホール17時

## ◆文学セミナーのお知らせ

〈遠藤周作の人と文学を語る〉

遠藤先生の思い出、遠藤文学から得  
たもの等、今回は皆で話し合う会です。  
三幹事のほかゲストも予定していま  
す。ぜひ御参加ください。

日 時 4月20日（土） 15時～17時

会 場 日本ペンクラブ会議室

TEL 03-5614-5391

会 費 1000円

申込みの必要はありません。当日直  
接会場にお出でください。

## ◆記念対談のお知らせ

〈加賀乙彦 vs きたやまおさむ〉

日 時 5月18日（土） 16時30分

会 場 町田市民フォーラム（JR町

田駅より徒歩5分。サウスフ

ロントタワー町田内）

申込み方法は一面参照

## ◆遠藤周作の最新刊本

『老いてこそ学べ』

河出書房新社・新書

定価 760円＋税

遠藤周作は「老い」をテーマに、  
4百編にのぼるエッセイを書いていま  
す。本書は、その中から選りすぐりの  
40編を収録した珠玉のエッセイ集です。  
老いることは時につらく悲しいこと  
ではありますが、老いたからこそ得ら  
れる楽しみも少なくありません。本書  
には、留学時代を懐かしむ「リヨンか  
らの手紙」や、毛生え葉をひそかに試  
す「ハゲに奇跡起きるか?」、ピアノ  
レッスンに悪戦苦闘する「人生を楽し  
むこと」など、遠藤周作らしい人間愛  
とユーモアに満ちたエッセイの数々が  
取められています。もちろん、若い人  
が読んでも面白く、世代を超えて楽し  
める一冊となっています。

3月19日 発売予定

## ◆遠藤文学講座のお知らせ

〈『死海のほとり』を読む〉

日 時 3月16日、4月13日

15時20分～16時50分

（3月は前回の予定から変更  
しています。日時は変更する  
場合がありますのでご確認ください）

場 所 幼きイエス会

（四ツ谷駅麹町口前）

TEL 03-3261-0825

講 師 山根道公

受講料 1回2000円（学生半額）

申込み 風編集室

TEL 086-227-5665

✉ kazehensyuusitu@gmail.com

内 容 『死海のほとり』を克明に読  
み解き、日本人に実感のでき  
るイエス像を探ります。

## ◆演劇公演のお知らせ

周作クラブ委員の亀岡園子さんが出  
演する「SUKIYAKI」を観に行きませ  
んか。昭和30年代半ばの東京・渋谷が  
背景。笑いあり涙ありの舞台劇です。  
日 時 4月3日～9日 午後・夜  
劇 場 中野・ザポケット  
料 金 3800円（前3500円）  
申 込 sonokokameoka.090-3230-  
1231@docomo.ne.jp まで。

## ◆「周作クラブ」会員募集

遠藤文学ファンはもちろん、これか  
ら読んでみようという若い人も大歓迎  
です。年会費は3千円。下記の加  
藤宗哉事務所内「周作クラブ」まで  
おハガキかFAXを下されば、折返  
し会費振込み用紙をお送りします。

## ◆編集後記

▼北日本や東北・北海道で、昨年暮から大  
荒れの日が続いております。東京も1月中  
旬に思わぬ大雪に見舞われ、その後寒い日  
が続いたので、道路が凍ったりして大変で  
した。巻頭ページにありますが、宮辺尚幹  
事が転んで左腕を折ったようです。会員の  
皆さんは大丈夫でしたでしょうか。

▼ところで宮辺さんはその後、いたって元気  
です。骨折の仕方がよかった（？）とかで、  
すぐ手術して今はほとんど不自由なく左手  
を使っています。

▼今夏には、宮辺さんによるチャンバラ  
ミュージカル公演があります。6ページには  
出口淳子さんの「遠藤周作記念アンサンブ  
ル」の公演のレポートが掲載されています  
が、次回の演奏会はぜひ皆で見に行きたい  
ですね。遠藤先生の残した劇団「樹座」の  
精神が、生きつづけております。

▼佐藤陽子さんの、思わぬ遠藤先生との関  
わりを綴るエッセイも、興味深いものでし  
た。佐藤さんの中には今も池田満寿夫さん  
が生き続けており、それを遠藤先生がじつ  
と見続けている、気がします。（颯）

## 「周作クラブ」第50号

2013年2月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 金子 コウ

■この号の編集者

岡田厚美、一田佳希、大原雄、  
近藤恭弘、太原正裕（印）

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17  
加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

TEL 080-1097-1979

FAX 03-3421-1521

●次回の会報発行は6月の予定です。